先端ものづくり分野(電子物理工学人材養成履修モデル)

養成する人材

物理学を基礎として、固体物性、半導体工学、電子工学などを幅広く学ぶことで、様々な問題に対して論理的にアプローチする能力を有し、先端エレクトロニクス人材、アナリストなどを中心に 幅広く活躍できる人材を養成。

		個点へ石庫できる人们で長次。			
科目区分	1年次	2年次	3年次	4 年次	
	科目名	科目名	科目名	科目名	
全学基礎教育科目	STEAM科目				
	ユニバーサル科目 等				
	32単位				
理工共通基礎科目	データサイエンスのための基礎数学[4]				
	基礎プログラミング[2]				
	基礎物理学[2]				
	基礎化学[2]				
	基礎地学[2]				
	理工学英語[2]				
	フレッシュマンセミナー [2]				
	フレッシュマンセミナー II [2]				
理工社会実装	社会実装セミナー I [2]	 社会実装セミナーⅡ[4]	社会実装セミナーⅢ[2]	 社会実装セミナーⅣ(卒業研究)[8]	
教育科目	1位 大衣 とく ケート[2]	任玄天表で、ケール[4]	(社会大表で、) [2]	性云天衣と、ケード(千未明九月0]	
専門人材教育科目		理工グローバルコミュニケーション [2]			
(基礎科目)		創造理工学 I [2]			
		創造理工学Ⅱ [2]			
		物質工学 [2]			
		半導体工学基礎[2]			
		半導体工学 [2]			
		電子工学概論[2]			
		物理学序論[2]			
		力学 [2]			
		基礎電磁気学[2]			
		電磁気学 [2]			
		物理数学基礎[2]			
		物理数学Ⅰ[2]			
		物理学実験 [4]			
		量子力学 [2]			
専門人材教育科目		物質工学Ⅱ[2]	物質工学Ⅲ[2]		
(発展科目)		応用電子工学[2]	半導体工学Ⅱ[2]		
		力学 [2]	半導体工学Ⅲ[2]		
		電磁気学Ⅱ[2]	熱統計力学Ⅱ[2]		
		熱統計力学Ⅰ[2]	固体物理学 I [2]		
			固体物理学Ⅱ[2]		
			量子力学 II [2]		
			物理学実験Ⅱ[4]		